

1 業界・企業・職種とは

自分を知ること（自己分析）と同時に大事なことが、社会を知ることです。社会には様々な業界・企業・職種があり、同じ業界でも企業によって扱う商品やサービスが異なりますし、同じ企業内においても職種によって仕事内容や働き方が異なります。イメージに惑わされないようにしっかり調べてみましょう。

業界とは

業界とは、同じ業種（事業内容の種類）に携わる企業の集まりを指します。製造業界、金融業界、サービス業界などその分類は様々です。また同じ業界に属していても、その仕事内容や取り扱う商品が同じとは限りません。興味ある業界をいくつかリストアップし、そこに属する企業や他の業界との関連について調べてみましょう。

職種とは

職種とは、企業内で日常的に行う仕事内容を分類したものです。具体的には企画、営業、販売、総務、広報、技術、開発など様々な職種が存在します。しかし、同じ職種でも業界や企業によって仕事内容が異なる場合があります。志望する企業では、その職種が実際にどんな仕事をしているのかをしっかりと把握する必要があります。

働き方（コース区分）の違い

企業によっては「総合職」「一般職」「エリア限定職」「専門職」などのコース別採用を行っている場合があります。その場合、エントリー段階で選択を求められるので、自分の希望する働き方をあらかじめ決めておく必要があります。コースによって、働き方だけではなく、仕事内容や給与などの待遇面にも違いがあります。

(例)

総合職	将来の幹部候補として仕事の裁量が広く、社内のあらゆる業務に就く可能性があり、企業によっては転居を伴う転勤もあります。
エリア(地域)限定職	「地域限定職」「エリア総合職」「特定総合職」などの呼称がありますが、勤務地を一定エリアに限定した区分です。原則として転勤を伴う異動がなく、自宅から通える範囲で勤務できますが、仕事は総合職並みと考えればよいでしょう。
一般職	仕事の範囲が限定的で、決められた担当業務の中で経験を積みませ。一般事務などが挙げられます。
専門職	専門性を必要とする職を指します。「法務」「会計」などのように、あらかじめ専門知識やスキルを持った人を職種を限定して採用するもので、配属先が限定されています。

2 業界・企業研究とは

[業界研究]

世の中にはどのような業界があるのか知るところから始め、興味や関心のある業界について理解を深めましょう。

業界研究を行う目的は、以下の3点です。

- ・業界間のつながり、関係性を知り、企業選択に広がりを持たせる。
- ・その業界が、BtoBかBtoC^{*}か等、業界の特徴を知る。
- ・その業界の安定性や成長性を把握する。

[企業研究]

次にどんな企業があるのか、調べていきましょう。企業規模や事業内容などの基本データだけでなく、社風や経営ビジョン、同業他社との違いなどの情報も集めましょう。(次ページ参照)

同じ業界の中でも、企業によって得意な分野や仕事の進め方などはそれぞれ違います。個々の企業について違いを調べ、比較することによって、自分にあった企業を見つけることができます。

企業を選ぶうえで重視するポイントは、人によって異なるものです。「企業研究から得られた情報」と、自己分析を通して自覚した「自分の適性」や「キャリアプラン」をすり合わせながら、自分に合った企業を探していきましょう。

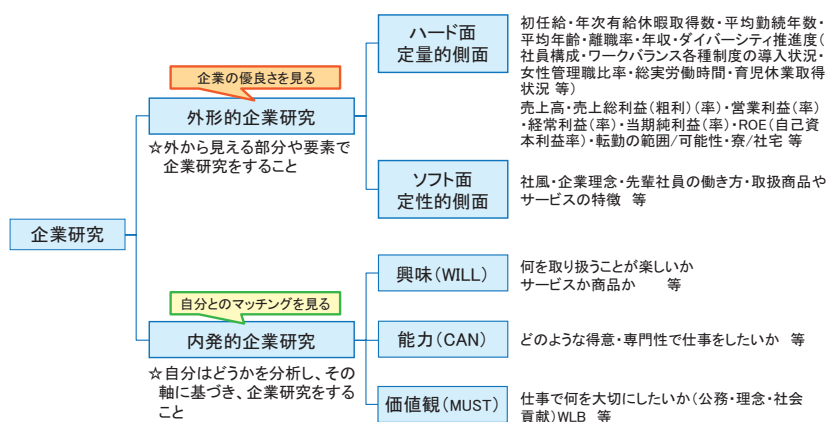
- ※BtoB：企業が企業に対して商品やサービスを提供するビジネス
- BtoC：企業が一般消費者に対して商品やサービスを提供するビジネス

業界・企業研究に活用できるもの

- ① 会社説明会
- ② 企業のウェブサイト、就職情報ナビサイト
- ③ 新聞、雑誌、書籍*
- ④ 会社訪問、OB・OG 訪問

※学内のネットワークで利用できるデータベースでは、過去の新聞・雑誌等の情報収集が可能です。(利用方法は、P.52 参照)

【企業研究の観点】



III

合同企業研究会／説明会の利用方法

合同企業研究会／説明会（以下、「合説等」という）は、一度に多くの企業の情報が得られる非常に有効な機会です。特に大学主催の学内合説等は、本学学生を採用したい企業が集まるため、是非参加して就職活動に有効活用しましょう。合説等の利用方法は以下の通りです。積極的に多くの企業を話を聞きに行きましょう。

- ・ 志望業界の企業であれば、名前を知らない企業でも訪問してみる
志望業界から多くの企業が出展しているので、名前を知らない企業でも積極的に訪問する。
- ・ 志望企業が出展していれば、事前に調べておき、質問内容を考えておく
既に志望企業が決まっているのなら、企業 HP 等を参考に知りたい内容に

についての質問を用意しておく。

- ・個別の企業を詳しく知ること、企業の比較検討をする
企業情報についてを詳しく知り、企業間の比較検討材料を集める。
- ・OB・OG 訪問の代用として活用する
社員の人たちの「生の意見」を聞き、HP 等ではわからない会社の特色や雰囲気を把握する。
- ・自分の志望企業の再確認をする
志望企業の働き方や価値観、社風等を把握し、本当に自分に合うのか等、再確認をする。

3 インターンシップ等について

インターンシップ等へ参加しよう

インターンシップ等の機会を有効に活かし、企業や業界の特徴を知りましょう。選び方は自分の興味・目的に合わせて、主に以下の3つの観点があります。

1. 業界や企業で選ぶ
2. 実施期間で選ぶ
3. プログラム内容で選ぶ

2024年卒就活では、入社した会社のインターンシップに参加した学生の割合は約40%にもなります。インターンシップと内定の関わりは強いので、積極的に参加するようにしましょう。

また、令和5年度から「インターンシップ」と呼ばれる取組の中で、企業が得た学生情報は採用活動に使用できるようになりました。

ただし、インターンシップで高い評価を得ていたとしても、採用が確定するわけではありません。油断して志望先の範囲を狭めないようにしましょう。

出所：リクルート 就職みらい研究所『就職白書 2024』



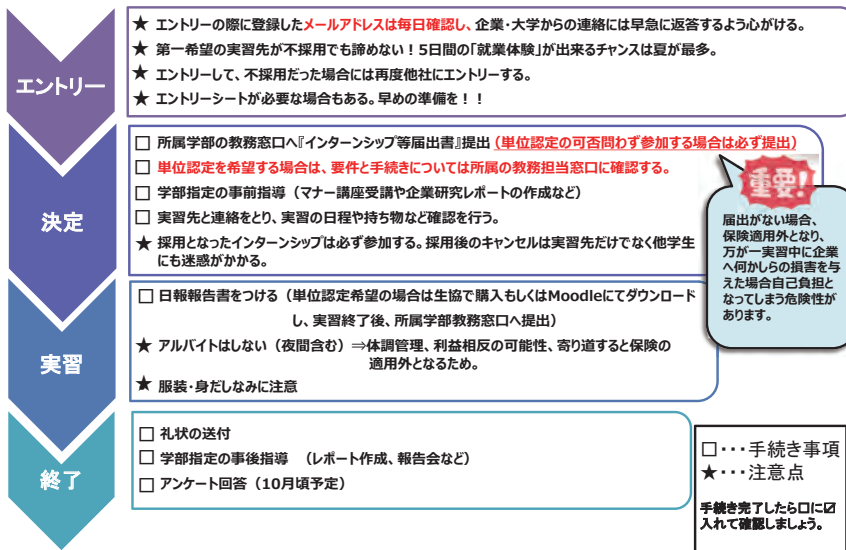
インターンシップ等の種類・申し込み先

応募方法	種類	申込先	期間
大学を通じて応募	○富山大学独自のインターンシップ等 富山大学内インターンシップ・キャリアアスタディ	就職・キャリア支援センター	県内企業のみ 全て5日間
	○官公庁 一部個人で応募場合があります。 ※各自治体等の応募方法を必ず確認すること		県内外企業 ほぼ5日間
個人で応募	○マイナビ、リクナビなどの就職情報ナビサイト ○企業（企業ウェブサイト）	ウェブサイト	県内外企業 1～4日間多い
	○各都道府県インターンシップ推進協会 【富山】 就活ラインとやま 【石川】 ジョブカフェ石川 【福井】 291JOBS新卒 【岐阜】 岐阜県インターンシップ推進協議会 など ※一部大学を通じて応募場合があります。		県内外企業 ほぼ5日間

Ⅲ

業界・企業・職種について知る

一般的なインターンシップ等の流れ



4 業界研究ワークシート

興味や関心を持てる業界について理解を深め、自分に合った業界を探しましょう。
ワークシートは Moodle にも掲載しています。

業界名

業界の概要・規模	
業界の現状	業界の課題
業界の将来性	業界内にある企業

Ⅲ

業界・企業・職種について知ろう

5 企業研究ワークシート

志望動機を作成しやすくするため、企業について整理しましょう。ワークシートは Moodle にも掲載しています。

企業名

事業内容	志望動機
企業の理念・ビジョン	同業他社との比較
強み・特徴	この企業でやりたい仕事、実現したいビジョン

Ⅲ

業界・企業・職種について知ろう